開成学園排球部OB会 会報第31号

1. 総務関係報告および活動予定

平成23年 4月 第29回開成・麻布定期戦開催(当番校:麻布) ☆総合優勝☆ 開成(7連覇達成 通算20勝9敗)

5月 年度幹事会開催

6月 OB総会開催

8月 会報発行

平成24年 4月 第30回開成・麻布定期戦開催(当番校:開成) ☆総合優勝☆ 開成(8連覇達成 通算21勝9敗)

5月 年度幹事会開催

6月 OB総会開催

9月 会報発行

<平成24年度 第30回開成麻布定期戦報告>(文責:平成22年卒藤井)

今年度も開成、麻布双方の OB の皆さま方にご協力いただきまして、第30回開成麻布定期戦が開催されました。昨年は麻布高校開催だったこともあり、今年度は開成高校にて開催される運びとなりました。開成は昨年見事7連覇を達成し、今年も更に連覇を重ねるべく、桜が満開に咲き誇る中、今年で30回目となった伝統の定期戦に臨みました。

開成、麻布の中高生たちが早朝からエキシビション試合で軽く実力を確かめ合った後、開会式が行われ、まずは中学戦が行われました。宮先生や松本コーチの指導の甲斐もあり見事ストレート勝ちをおさめた去年に引き続き、都大会出場、さらに上位進出を目指す開成としては絶対に負けられない試合となりました。さて蓋を開けてみると、開会式前のエキシビションマッチで大分緊張もほぐれていたためか序盤からエースを中心に手堅いプレーで麻布を寄せ付けず、終始リードを保って第一セットを取ることが出来ました。2セット目になってもその勢いは変わらず、特にサーブカットで大きく勝った開成が精神的にも落ち着いて堅実なプレーを続け、今年度も見事2-0のストレート勝ちをおさめてくれました。前年度の宮先生、松本コーチの指導に加え、中学を専門に指導してくださる須藤先生による徹底した基礎技術の向上が良い形で実を結んだ形となりました。これから都大会で強豪校を相手に上位に食い込んでいくためにも、この調子で基本的なプレーの精度をさらに上げることを第一に、高校生に負けぬ大きな声を出して元気に頑張ってほしいなと思います。

中学戦勝利の興奮冷めやらぬ中、続いて超 0B 戦が行われました。2年前の試合から連勝している超 0B 戦で3連勝を目指し、諸先輩方は試合前から気合十分といったご様子でした。試合は両チームの意地と意地がぶつかり合い、文字通りの熱戦となりました。序盤から往年の姿を彷彿とさせる好スパイク・好レシーブが何本も飛び出し、普段9人制バレーを見慣れていない現役達も食い入るように観戦していたようです。両レフトによるスパイクの打ち合いとなる接戦でしたが、長年の経験に裏打ちされた繋ぎも抜群で、接戦のすえに開成が見事1セット目を取りました。2セット目以降も老獪なプレーで麻布との差を広げ、最終的にはやや余裕を持って勝利することができました。諸先輩方も内容・結果ともに大満足のご様子で、超OB戦の連勝はこれからも続いていくのかなと思わず期待してしまうような大勝利となりました。

OB戦は、本年度も各学年で声かけをし合うことで、とても大勢のメンバーが集まっての試合となりました。例年と比較してやや若いメンバーが多かった今年度は、1セット目は卒業して1~3年の若いチームで麻布に挑みました。麻布の OB の人数が少なかったこともあり、終始余裕をもってプレーした開成が麻布を圧倒し、1セット目を取ります。2セット目には1セット目に出ていなかった OB を中心に大きくメンバーを変更しましたが、開成の優位は全く変わらず、危なげなく2セット目を取ることが出来ました。今年度になり若手 OB がかなり増えてくれたこともあり、今後はこれまで以上にOBチームとして高校生の練習相手が出来るようになりそうです。

ここまで開成は中学・超OB・OBと3連勝、久方ぶりの完全優勝の期待も高まる中、最後の高校戦を迎えました。例年5月に控える関東予選上位進出の試金石となるこの麻布戦高校生の部ですが、昨年大差でストレート勝ちしているだけに、今年度も負けるわけにはいかないと高校生も気合

十分の様子でした。2年ぶりの春合宿を終え、基礎能力だけでなくコンビネーションなどのチーム力が大きく向上した高校生は、実力で勝る麻布相手に安定した試合運びを見せてくれました。試合全体を通じて、レシーブが安定し、そこからのレフト攻撃を軸にどんどん点差を離していきました。効果的なブロックも時折見られ、結果最終的に2セットとも大差をつけた末、2-0のストレート勝ちを収めることができました。この勝利に弾みをつけ、コンビ攻撃に磨きをかけつつも5月に迫った関東予選において、念願の関東大会出場を目指し是非とも頑張ってほしいと思います。この勝利を受けて、開成は中学・超OB・OB・高校の全4部門全勝で1セットも落とすことなく、定期戦8連覇を果たすことができました。

その後は場所を移して懇親会が行われました。先程まではライバルとして勝利を賭けて熱戦を繰り広げましたが、終了のホイッスルが鳴り響いた後には、数10年来の良き友の姿がそこにはありました。OBはお酒を飲みながら麻布・開成の同期同士現役時代の思い出を振り返りながら懐かしい話に花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換を行い、今年の健闘を称え合いつつも来年の再戦を誓いました。

2. 平成24年度役員人事

役員						
顧問	栗原 弘	先生	幹事長	藤井	遼介	(H22 卒)
	奥山 茂樹	先生	副幹事長	増田	修久	(S59 卒)
	宮 利政	先生	会計幹事	田沢	優	(H9 卒)
	須藤 俊文	先生	監査幹事	関	茂和	(S54 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史	先生	総務幹事	大内	隆成	(H14 卒)
	伊藤 清一	先生		大橋	尚史	(H18 卒)
相談役	吉村 功	(S26 卒)		金田	涼佑	(H19 卒)
	進藤 定夫	(S30 卒)		山田	淳也	(H19 卒)
	石東 晃一	(S34 卒)		溝口	晃	(H21 卒)
	安井 高明	(S37 卒)		藤井	遼介	(H22 卒)
	山本 純一	(S38 卒)		松本	裕太	(H22 卒)
	佐藤 勇	(S40 卒)		米内	柾人	(H23 卒)
	結城 教仁	(S43 卒)		小枝	滉斗	(H24 卒)
	田中 俊一	(S43 卒)	HP 管理幹事	溝口	晃	(H21 卒)
	片野 昭秀	(S44 卒)	OBチーム主将	藤井	遼介	(H22 卒)
会長	桑田 起義	(S45 卒)	高校コーチ	小枝	滉斗	(H24 卒)
会長代行	小川 宗男	(S45 卒)	中学コーチ	米内	柾人	(H23 卒)
副会長	矢澤 俊彦	(S48 卒)				
	市村幹司郎	(S50 卒)				
	関 茂和	(S54 卒)				

年度幹事

•	11 3						
	24年~27年	吉村 功	(26 卒)	49年	高塚 義弘	H6 年	鈴木 大輔
	29年~30年	進藤 定夫	: (30 卒)	50年	松下 和正	H7 年	依田 秀則
	31年~32年	明渡 久和	(31 卒)	51年	上野 雅資	H8 年	鈴木 周
	34年	石東 晃一		52年	老川 功明	H9 年	宮 利政
	35年	平松 久和		53年	野口 恭司	H10 年	川原 希彦
	36年	三崎 哲郎	e E	54年	関 茂和	H11年	楓 淳一郎
	37年	安井 高明		55年	高浪 孝勝	H12年	川原 尊徳
	38年	山本 純一	*	56年	鈴木 章弘	H13 年	丸崎 玲
	39年	鈴木 康之		58年	藤森 光章	H14年	勝井 政博
	40年	佐藤 勇		59年	清水 誠一	H15年	丹野 敬大
	41年	西山 祐二	21 ≰1	60年	草野 昌行	H16年	森 禎三郎
	42年	片野 清昭		61年	津野 泰明	H17年	浅川 洋貴
	43年	結城 教仁	π *.	62年	奈村太久馬	H18年	梶原 啓
	44年	片野 昭秀		63年	和知 敏樹	H19年	金田 涼佑
	45年	小川 宗男		H1 年	小木曽和宏	H20 年	加登 翔太
	46年	西村 隆	i	H2 年	和里田 聰	H21年	溝口 晃
	47年	松田 信彦		H4 年	神波 泰夫	H22 年	藤井 遼介
	48年	矢澤 俊彦		H5 年	古野 徳一	H23 年	徳田 大輔
						H24 年	小枝 滉斗

3. 会計報告·会費納入状況

平成23年度 収支報告書 平成23年4月1日~平成24年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥519,000
現役強化費	¥170,000	受取利息	¥10,240
コーチ交通費補助費	¥40,000		
通信費	¥77,500		
荒川区大会参加費	¥0		
麻布定期戦費	¥25,000	e e	
文房具費	¥10,360		
事務費	¥57,780		
慶弔費	¥34,000		
幹事会費	¥10,780		
送金手数料	¥4,895		
		永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
小計	¥550,315	小言	¥629,240
次年度繰越金	¥4,694,419	前年度繰越金	¥4,615,494
合計	¥5,244,734	合計	¥5,244,734

平成24年度 予算 平成24年4月1日~平成25年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥500,000
現役強化費	¥200,000	受取利息	¥10,000
コーチ交通費補助費	¥60,000	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥80,000	0.60	
荒川区大会参加費	¥20,000		
麻布定期戦費	¥25,000		
文房具費	¥15,000		1
事務費	¥70,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥5,000		
小計	¥610,000	/]	計 ¥610,000
次年度繰越金	¥4,694,419	前年度繰越金	¥4,694,419
合計	¥5,304,419	合計	¥5,304,419

平成23年度 永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書 平成23年4月1日~平成24年3月31日

科目		金額	科目	金額
(支出の部)			(収入の部)	
平成23年度予算に繰入		¥100,000		
	小計	¥100,000	前年度繰越金	¥700,000
次年度繰越金		¥600,000	小計	¥700,000
合計		¥700,000	合計	¥700,000

平成24年度 永峰光雄氏寄付金特別会計予算 平成24年4月1日~平成25年3月31日

科目		金額	科目		金額
(支出の部)			(収入の部)		
平成24年度予算に繰入		¥100,000	前年度繰越金		¥600,000
	小計	¥100,000		小計	¥600,000
次年度繰越金		¥500,000			2414
合計		¥600,000	合計		¥600,000

会計幹事 田沢 優(平成9年卒) 関 茂和(昭和54年卒) 監査 冨部 直希(昭和43年卒)

会費納入のお願い

現役の支援および会員の交流を柱とする OB 会の運営は OB 諸兄の会費で成り立っています。最近の現役の好成績も OB の皆様の陰ながらのご支援があってのことと思われます。年会費は社会人 4,000 円、学生 3,000 円です。社会人の場合、一括納入割引として 10,000 円の納入で 3 年分として計算させていただきます。平成24 年度の会費が納入済みの方には納入状況をお知らせする紙を同封しております。平成24 年度の会費が未納の方には振込用紙を同封しております。郵便局、銀行どちらからでも振り込みができますが、郵便局にて振り込みの場合、手数料はかかりません(OB 会負担)。納入いただいた会費を過去未納入分の会費に充当することはしていません。今年度分より納入、として計算しています。なお会費納入にもかかわらず、振込用紙同封の行き違いがありましたらご容赦願います。

振込先: 郵便局

口座番号:00100-0-50926

口座名:開成学園排球部 OB 会

あるいは

みずほ銀行稲荷町支店(店舗番号090)

口座番号:普通 1041691 口座名:開成学園排球部 OB 会

			OB≰														末期							
卒業年次	会員数	物故	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22 I	H23	H24 H	125	H26	H27	H28	H29 F	130	H31以陷
昭和24年卒	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和25年卒	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和26年卒	5	- 20	5	5	5	5	4	4	4	3	4	5	5	4	4	3	3	1	1					
昭和27年卒	4	. 1	4	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0							
昭和28年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和29年卒	1	_	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	^						
昭和30年卒	9	2	6 5	6 5	6 5	6 5	4	5	5	5 4	4	4	3	3	2	3	3	2	1					
昭和31年卒 昭和32年卒	2		0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	Z						
昭和33年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和34年卒	5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	1	1	1							
昭和35年卒	6	-	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	3	2						
昭和36年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	3	2	2							
昭和37年卒	4	_	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1					
昭和38年卒	8	1	5	5	3	5	5	5	5	4	5	5	4	6	5	4	4	4	1	1	1			
昭和39年卒	8	1	3	4	3	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1						
昭和40年卒	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
昭和41年卒	4		1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
诏和42年卒	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
昭和43年卒	12	1	7	6	4	5	5	6	7	7	7	8	7	8	7	7	6	3						
昭和44年卒	3		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1						
召和45年卒	8		5	6	6	6	5	6	6	6	7	7	7	6	8	8	8	4	1	1				
昭和46年卒	12		6	6	4	3	2	3	5	3	3	4	4	3	4	4	4	2	1					
诏和47年卒	11		4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	0	1	1	2	2	2						
昭和48年卒	4		2	3	3	3	2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	2	2	1	1				
沼和49年卒	19		15	16	9	13	13	12	17	15	11	13	11	9	11	10	8	2						
昭和50年卒	7		4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	3	3	2	2	2							
昭和51年卒	3		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0							
昭和52年卒	7		4	4	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	2	1	4						
诏和53年卒	10		2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	3	3	1	4		4			
诏和54年卒	8 12		8	7 5	3	3 5	4 5	4 5	5 5	7	5 5	4 5	3	4	6 4	7 4	7 4	3	1	1	1			
昭和55年卒 昭和56年卒	6	4	6	5	5	4	2	4	3	2	3	2	2	2	1	1	1	4						
昭和57年卒	0	- "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
昭和58年卒	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	1	1						
昭和59年卒	8		2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	3	2	2	3	3	1						*)
昭和60年卒	7		5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0							
昭和61年卒	10		4	4	4	3	3	2	3	2	1	1	1	2	2	4	4	4						
诏和62年卒	6		3	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1	o							
昭和63年卒	10		4	4	4	4	4	2	3	2	3	3	2	1	1	Ó	ŏ							
平成1年卒	6		1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0							
平成2年卒	12		3	2	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	0	0	0							
平成3年卒	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平成4年卒	8		2	3	3	3	4	5	3	3	3	2	1	1	1	2	1	1						
平成5年卒	10		2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2 5	2	2	2	2							
平成6年卒	14		14	4	3	2	3	4	5	5	5	5		3	2	2	1	1	1	1	1	1		
平成7年卒	9		9	9	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1						
平成8年卒	11		11	11	11	2	2	3	3	3	2	3	2	3	3	3	2	2	1	1	1	1		
平成9年卒	13		13	13	13	13	4	4	4	5	5 3	4	3	3	6	8	6	3	1					
区成10年卒	13		13	13	13	13	13	2	2	2	3	4	3	3	4	3	3							
平成11年卒	9		0	9	9	9	9	9	2	2	2	3	4	4	4	5	4	3						
F成12年卒	11		0	0	11	11	11	11	11	1	2	2	2	2	3	3	3	1						
P成13年卒	11		0	0	0	11	11	11	11	11	3	4		4	5	4	3	1			-	. 6		
区成14年卒	9		0	0	0	0	8	8	8	8	8	2	2	3	4	4	2	2	1	1	- 1	1	1	
平成15年卒	12		0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	1	0	0	0	0	0						
平成16年卒	5	-	- 1	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0						
平成17年卒	3				0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	1	1	0	0						
平成18年卒	7		1			0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	2	1	1						
平成19年卒	9	_	-			0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	0							
平成20年卒	4												4	4	4	4	4	- ₇₉₁ 11						
平成21年卒	4		_											4	4	4	4	4	-1					
平成22年卒	5														5	5	5	5	5	0				
平成23年卒	8															8	8	8	8	8	0			
平成24年卒	8																8	8	8	8	8			

4. 中学戦績(文責:中学生)

コーチ挨拶

今の中学三年生が新中一として入部して来た当初は、人数が多いせいもあってか、全くまとまりのない集団で最初の夏合宿では「この先、こいつらとやっていけるだろうか」と心配したものでした。しかし、学年がひとつ、またひとつと上がっていくうちに徐々に上級生としての自覚が芽生えたのか、今ではキャプテンの野村を筆頭に下級生をよくまとめあげてくれています。技術面においても顧問の先生方や多くのOBの尽力によって、見違えるほどに上達し、都大会への出場も果たしました。これから先もひとりも欠けることなく、バレーボールを続けてくれることを祈っています。

また、今年度からは試合講評を現役に書いてもらうことにしました。そのため形式等が統一されていない部分がありますが、現役の声をそのままお届けしたいと思い、そのまま掲載させていただいております。(文責:松本)

新人戦 10月8日

1 試合目 vs 尾久八幡中学校 25-19 25-09

1セット目は、皆あまり体が動かず、自分たちのペースに持ち込めない苦しい試合展開でした。しかし、後半で佐藤、前川のサーブが冴え25-19で勝つことが出来ました。

2セット目は動きの鈍かった横山に変え、矢頭を投入。このセットはいつも通りのプレーができ、25-09で快勝しました。

(文責:野村)

2試合目 vs 諏訪台中学校 25-27 20-25

1セット目は、中盤までは両者決めあいミスしあいのシーソーゲームでした。終盤、一時は23-18までリードしたののですが、こちらが自滅し、24-24。そしてデュースの末、開成がミスを3連発して25-27で敗れてしまいました。

2セット目も 9-9 までシーソーゲームでしたが、開成のミスが続き 9-14 まで離され、そのまま両者ミス多く、20-25 で敗れました。サーブミスの数は諏訪台の方が多かったのに負けてしまったのは反省点です。

(文責:桃井)

3 試合目 vs. 荒川四 12-25 16-25

相手チーム分析

全体的に高さが低く、打ってくるのは軟打のみ。繋いで自滅を誘うのと、ガタイの割に伸びるサーブで崩してくる。

1セット目

最初にサーブカットでミスが連発し、全員声が出なくなる。そこからスパイクはふかすし、サーブは外すし で自滅してしまった。

2セット目

始め7-3のところまでは優勢だったが、そこから相手のサーブに連続得点された。栗原先生は「自分たちで何とかしろ」とおっしゃって、タイムアウトをあえて取らなかった。結局そこから1セット目と同じ展開になり敗北。

(文責:佐藤)

ブロック大会 10月16日

1試合目 vs 足立14中学校 15-25 18-25

試合を見ていてまず感じたのは、相手校との差である。

1つ目は声が出ていないこと。

2つ目はAクイック。

Aクイックが上がらず、完全に崩された。

その結果、声が出なくなり、負けてしまった。

悪いところが出てしまった感じだ。

2セット目

1セット目と同じような展開になり、負けてしまった。 多くの課題を残す結果となった。

(文責:細川)

2試合目 vs 浅草中

1 セット目はいい流れを自分たちのミスできってしまい、そのままずるずると相手のペースを崩せずに敗北。 2 セット目は相手にリードされつつも最後に追いつきかけたが、その流れを作るのが遅すぎて敗北してしまった。

(文責:矢頭)

3 試合目 vs 千寿桜堤 25-18 25-12

ーセット目は、桃井がきちんとスパイクが打てたり、野村のサーブがよかったりしていい試合が出来た。途中連続失点をしてしまい。なかなか立ち直れなかったが、結果は25対18で勝利。

ニセット目は、ミスなくいけて 23 対 09 まで行ったところで野村のサーブが外れて流れが向こうに行ったが うまく立ち直れて 25 対 12 で終わった (文責:下田)

新人戦都大会 11月13日

1 試合目 vs 青戸中学校 22-25 25-18 18-25

1 セット目は 3、4 点差で追う展開。サーブの 2 本目がアウトになる傾向が目立った。結局追いつけず 22-25 で 1 セット目を終える。2 セット目は中島、桃井のスパイクで相手を圧倒。25-18 で制し、3 セット目へ。このセットも 13-12 でリードしていたが、サーブが入らなくなると途端に連続失点。そのまま流れを持っていかれ、18-25 で敗北。 開成はミスが要所で目立ち、新人戦は初戦敗退という結果に終わった。(文責:塚越)

麻布定期戦

対麻布中: 2-0 で勝利

ご覧になっていた先輩方も多くいらっしゃったと思いますが、終始相手に流れを渡すことなく、 自分たちのバレーが出来ていたように思います。

荒川区大会 4月21、22日

第1試合

vs諏訪台

24 - 26

25 - 22

17 - 25

第一セットは終始開成のペースで進み、24-21となったもののその後 5 点連続でとられ、負けてしまった。 第二セットでも開成のペースで試合が進み、25-22で勝った。しかし第三セットでは相手のサーブに押され、 諏訪台のペースで試合は進み、負けてしまった。

(文責:中3 王)

第2試合

vs尾久八幡中学

第1セット

25-14で勝利

1セット目は相手側のサーブミスに救われる形で勝利した。序盤のうちは動きが固かったが、中盤は桃井やレフト2枚のスパイクが決まったのが良かった。

しかし、サーブミスが相手が7本、開成が5本と多く、ゆえに上手く流れに乗りきれない試合だった。

第2セット

25-17で勝利

2セット目はサーブミスが先ほどよりも少なく、前半は流れに乗れた。主に前川のサーブで相手を崩し、桃井、レフト2枚のスパイクで決めるという自分たちのプレーができた。だが終盤にはいり相手が粘りだした所で連続失点を許してしまった。

終盤の気の緩みと連続失点を早く止めることが課題として残る試合だった。 (文責:中3 野村)

35

第3試合

荒川五中戦

25-14

25-16

相手のレシーブによく拾われましたが、チャンスから確実にスパイクを決めていくことが出来ました。終盤は集中力が若干切れてしまいましたが、余裕を持ってプレーすることが出来ました。 (文責:中3 桃井)

第4試合

vs荒川四中

開成 四中

1セット目 26-24

2セット目 25-22

• 相手チームレビュー

身長は低いが、粘り強いレシーブと確実なスナップで点を狙ってくる。いかにチャンスを作って、開成の持ち味である「強打」に繋いでいくかが戦いの焦点となった。

・1セット目

最初の1点を許すものの、すぐに取り返して連続得点したことで常に1~4点差をつけた状態でゲームが進んだ (細川、王のピンチサーブの活躍もあり)。そして24-22と開成がマッチポイントを先取。が、ここでチームに 緊張が走る。思い出されるのは昨日の試合。諏訪台を相手に1セット目を24-19に追い詰めたはずが、そこから逆転されてしまったのだ。

そして今回も桃井、中島とスパイクミスが続いてデュースに持ち込まれる。

が、三度目の正直。チャンスを桃井がしっかり決めたことで、ようやく開成の番が回ってきた。

サーブも入り、相手のスナップをレシーブし、桃井にトスが上がる。

彼のスパイクは見事に相手を弾き、最後の1点を獲ってきた。(その前に相手のブロッカーがパッシングしていたなどということには触れてはいけない)

これまで課題にされてきた開成の「決め切れない」弱さを克服した瞬間だった。

・2セット目

最初に3点連続失点を許すが、そこを切り返して点差をひっくり返し、1セット目と同じような試合運びになった。

そして同じようなシチュエーション。24-19、既視感の溢れる点数だ。

相手のサーブで2点奪われるが、一度気持ちを落ち着かせ、今度は冷静にレシーブを上げた。

桃井のスパイクは上げられたが、そこから相手のスパイクを彼がブロック。そこで試合が決した。

白熱した試合の先に得た勝利に一同が沸いた。

反省

本当に全員がいつもより動きが冴えていた。「ゲームが進んだ」と書いただけだが、当たり前のことが当たり前のように実行されていたのは良かった。

強打のためには一本目のカットと、二本目のトスを上げることが必要で、今日はそれが繋がる回数が格段に 多かった。

ただ、ブロックが機能しない場面もあり、レシーバーの負担を増やしてしまった。サーブミスも少なかったがなかったわけではない。須藤先生のおっしゃっていたことだが、ボールの扱い方はやはり四中の方が上手だった。まだ見直されていない弱点もあるだろう。が、次の大会まで時間がないため、今はこの感覚を忘れないことが肝要だと思う。

今日のこの一戦は、今まで届かなかったところにあった勝利を掴んだ一戦だった。今度はブロック大会。もっと厳しい戦いが待っているだろうが、それに勝てるよう残された時間を有効に使っていきたい。

(文責:中3 佐藤)。

ブロック大会 4月29日

第1試合

vs御徒町台頭中学

第1セット

25-11で勝利

1セット目はこちらから攻める形で勝利した。相手のミスも多く、スムーズに勝つことができた。 スパイクはほとんど桃井で、8点を稼いだ。また、前川、福田のサーブで相手を崩せた。サーブミスも少な めで、なかなか良い試合となった。

第2セット

25-17で勝利

2セット目は、1セット目と比べるとレフトからの福田、中島のスパイクが多かった。だが、本数の割に点数があまり入っておらず、得点幻は桃井が中心か。

また、佐藤のサーブがなんどもきまり、こちらのペースに乗せられた。練習の成果を十分に出しきれた試合となった。

(文責:中3 吉村龍之介)

第2試合

VS千寿桜堤中

第一セット @VSo

開成のペースを作って良い流れで勝つことができたと思う。桃井などを中心にきちんと攻めていけたので良かったと思う。

第二セット ◎VS●

第三試合へ向けて、福田、中島などのレフト陣を多く使った。両者ともに強く打ち込めていたのがよかった。福田は毎回開いてできるだけ高いとこでとることを意識するともっとよくなる【かも】しれない。(文責:中3 西村)

第3試合

vs 足立6中

第1セット

25-22

足立 6 中は全体的に背が高めで、積極的に打ってくる 4 番や、強打を打ってくる 7 番が脅威だったが、序盤、前川のサーブや、桃井のスパイクの入りがとてもよく、流れに乗ることができた。

ただ、終盤での相手の追い上げに、少し焦りが出てしまったこともあり、得点差は3とギリギリの試合だった。

第2セット

14-25

このセットにおいて、第1セットと違ったのは、前回の試合の反省点であった、「サーブミス」を序盤から出してしまったこと。ペースを自分たちで乱してしまった。相手の1番もサーブミスを連発していたものの、相手の粘りに圧倒され、うまく流れに乗れず、大差をつけられてしまった。

第3セット

19-25

このセットでは、全体を通して相手の(特に 7 番)のスパイクの入りがとてもよく、苦しい試合を強いられた。 桃井の積極的なスパイクを中心に粘り強くプレーしたが、レフト 2 枚のスパイクが(よく決まったところもあったが)あまり安定せず、リードを許してしまった。また終盤にサーブミスを出すなど、うまく追いつけず、 結局負けてしまった。

(文責:中3 細川)

5. 高校戦績(文責:高校3年 五十嵐、深見)

コーチ挨拶

昨年度の高校コーチを務めさせて頂きました、徳田と申します。

コーチに就任して先ずチームに持った印象は、身長が全体的に低いということでした。特に最高学年はセンター1 枚を除いて軒並み 175cm を切っていて、果してどのような攻撃が出来るのか、不安を禁じ得ませんでした。従って、所謂「チームの作り所」に関しては、自ら守備へと焦点が移りましたが、そこで私達が重視したのはコミュニケーションでした。私自身はリベロでしたが、「ボールに触ることだけが仕事ではない」という考えの下、如何に緊張感を持ってチャンスボールを処理出来るか、前後の密な相談を通してワンタッチのボールをどれだけ攻撃に繋げられるか、常にコミュニケーションを取るよう指導致しました。無論それは、絶対的なエースがおらず、又下級生中心の攻撃が多い状況で、最高学年がリーダーシップを取り難くなって仕舞うことも危惧してのことでした。

もう1つ彼等を指導する上で強調したのは、これは宮先生の方針でもあり昨年度にも限りませんが、A チーム B チームという枠に捕らわれず、高校生全体で強くなろうということです。最終的はセッターでキャプテンでもある柳町を中心としたチームになりましたが、特にサイドスパイカーは流動的でした。良いものを良いと評価してやる、最高学年の度量、マネジメント能力にはコーチとしても頭が下がりました。開成は良くも悪くもフォームが我流ですが、その各々の色を最後の試合まで活かせたかと思っております。縦い或一人の調子が悪くて別のメンバーを入れたとしても、守備のフォーメーションから攻撃のレパートリーまで柔軟に対応していた彼等の姿を見て、とても頼もしく思えました。

唯一私個人として心残りがあるとすれば、夏から秋にかけて大学の漕艇部の関係で、なかなか部活に顔を出せなかったことです。運動会準備が本格的に始動し、部活との板挟みになり易い時期に彼等の側にいてやれなかったのは申し訳無かったです。それでも退部する部員を最低限に留め、立派にチームを纏め上げたキャプテン並びに最高学年には、感謝の一言しかありません。又コーチの働きが上手く行かない中でも指導や応援に来て下さった OB の方々、V リーグ出身で、厳しくも為になるアドバイスを下さった渡部さん、本当に有難う御座いました。これ程 OB の方々が試合の応援に駆け付けて頂けるのは開成だけだと、ギャラリーに圧倒される相手チームを見て実感しました。今年は東京都ベスト 32 という結果でしたが、先輩を乗り越えて行くのが後輩の仕事です。新高校コーチに就く予定である小枝君は、私とは一変最後の $1(\sim 2)$ 年間エーススパイカーを張っていた男なので、力の入れ所も大きく変わり、見応えのあるチームを作ってくれると思いますので、これからも応援よろしくお願い致します。1 年間本当に有難う御座いました。平成23年度高校コーチ 徳田大輔

インター杯予選

6/12(日)に北園高校でインター杯予選1日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合: 対昭和第一

第一セット 25 対 11 で開成の勝利 第二セット 25 対 10 で開成の勝利

より開成の勝利となりました。

第二試合:対日野台

第一セット 19対 25で日野台の勝利 第二セット 23対 25で日野台の勝利

より日野台の勝利となりました。

第三試合:対錦城

第一セット 25 対 22 で開成の勝利 第二セット 25 対 20 で開成の勝利

より開成の勝利となりました。

以上より、グループ内成績が2位のため開成は同大会1日目で敗退となりました。

高3の先輩方の引退試合をむかえ、この代としての初陣となる試合でした。相手校はみなまだ高3が残っているという状況で、少しでもハンデを埋めるべく、今回は特別に高3の小枝先輩と中山先輩の応援をお借りして挑むことになりました。強力な助っ人を得たものの、やはり新しい代が力不足で積極的に足を引っ張る形となり、残念な結果となってしまいました。具体的にはサーブカットや、Aクイックの際にセッターとセンターのタイミングが合わない、等の基本的な事がまだ全然出来ていませんでした。こういった基本的なプレーを完璧にすることを目標に、夏に向けて頑張りたいと思います。

全日本選手権大会

8/28(日)に開成高校で全日本選手権大会1日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合:対晴海総合

第一セット 25 対 14 で開成の勝利 第二セット 25 対 22 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第二試合: 対国分寺

第一セット 25 対 23 で開成の勝利 第二セット 25 対 13 で開成の勝利

より開成の勝利となりました。

第三試合:対城東

第一セット 19 対 25 で城東の勝利 第二セット 25 対 20 で開成の勝利 第三セット 25 対 11 で開成の勝利

より開成の勝利となりました。

以上より、開成は二日目進出を決めました。

夏の集大成とも言える試合でした。夏合宿以降この大会に焦点を絞り、チームー丸となって練習に励んできましたが、無事に突破することが出来て良かったです。コート決勝の城東戦では、こちらのエンジンがかかりきる前に第一セットを呆気なく取られてしまい、苦戦を強いられましたが、第二セット以降コート内外を問わず全員で声を出し、一気に勢いに乗って逆転勝ちをすることに成功しました。

ただ初日突破とはいえ、1 セット目を惜しげもなく相手に献上してしまうような戦い方をしていては、2 日目 以降の相手にはまるで通用しないと思います。格上相手にも怯まず序盤から全力で仕掛けていって、相手が 実力を発揮する前に 1 セット先取、そしてその勢いで次のセットも制する、そういったバレーが出来るよう、この先一ヵ月特に精神的な部分から詰めていこうと思います。

9/18(日)に駒大高校で全日本選手権大会2日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合:対城北

第一セット 17 対 25 で城北の勝利 第二セット 23 対 25 で城北の勝利 より城北の勝利となりました。

以上より、トーナメントによる勝ち抜け式のため、開成は同大会2日目で敗退となりました。

第一セットは相手のペースに飲み込まれて呆気なく取られてしまいました。第二セットではサーブで相手を崩すことも多く、スパイクも軟打でコースを切り、相手を翻弄する等、追い上げを見せましたが、あと一歩及びませんでした。やはり相手の雰囲気に押しつぶされることなく、自分たちのバレーをやることが大切で、そのためにはチームみんなで声を出してムードを作ることが重要ですが、それが今回はあまり出来ていなかったように思います。もっと格下としての自覚をしっかり持って挑むべきでした。プレーに関しては、第二セットでのスパイカーの頭を使ったプレー(相手のコートを良く見て、相手の守備隊形の弱点を突く攻撃をする)など、開成らしいプレーが出来たので、その点については良かったと思います。とはいえ今回完敗したことは事実であるので、サーブカット等の基本技術の徹底、時間差やパイプ攻撃などの新しい戦術の導入等を念頭に、次の大会に向けて頑張りたいと思います。

新人戦

11/13(日)に成瀬高校で新人戦1日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合:対成瀬

第一セット 25 対 17 で開成の勝利 第二セット 25 対 16 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第二試合: 対府中

第一セット 25 対 16 で開成の勝利 第二セット 25 対 13 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第三試合:対創価

第一セット 25 対 12 で開成の勝利 第二セット 25 対 20 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

以上より、開成は同大会二日目進出を決めました。

全日本選手権大会に引き続いて 2 日目進出を飾ることが出来ました。コート決勝の創価戦では、第一セットから声を出して相手を圧倒し、序盤からこちらがペースをつかんで危なげなく勝利することが出来ました。ただ第一試合、第二試合では、もっと点差をつけて勝利することが出来た筈なのに、相手のミスにこちらが付き合ってしまい、20 点近く取られてしまう、といった一種驕りとも言えるような試合内容になってしまい、そこは深く反省すべきだと思いました。来週に本大会の二日目がありますが、それ以前に、たとえこちらの方が実力が上であるとしても、手を抜かない(具体的にはスパイカーが相手を強豪であると思って頭を使った全力の攻撃を常にする)で圧勝し、その先の来るべき試合に最高の雰囲気で挑む、といった強豪校なら当たり前のことを実践して、まだまだ弱小校の域を出ていないチームではありますが、少しでも強豪校に近づけるようにしたいです。

11/20(日)に電大高校で新人戦2日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合: 対早大学院

第一セット 17対 25で早大学院の勝利 第二セット 24対 26で早大学院の勝利より早大学院の勝利となりました。

以上より、トーナメントによる勝ち抜け式のため、開成は同大会2日目で敗退となりました。

惜しい試合でした。技術的にも大差はなく、こちらが力を出し切れば勝てた試合だったと思います。要所でスパイカーが精彩を欠く、サーブを外す等こちらの自滅による失点も多く、今後の課題が浮き彫りになったように思います。精神的に苦しい、ビハインドで迎えた中盤にどうしても緊張して足が重くなってしまい最高のパフォーマンスをすることが出来ない、といったことですが、やはり練習試合での同じような場面に時に本番を意識して取り組み、メンタル面で耐性をつける、といったことをコツコツと積み重ねる他ないと思います。宮先生のご尽力のおかげで現在練習試合に恵まれた環境にいることを忘れずに感謝しつつ、この代での後半戦、一回一回の練習試合で技術だけでなく精神面も着実に成長していけるよう、より一層真摯に取り組んでいこうと思います。

私立バレーボール選手権大会

12/27(火)に開成高校で私立バレーボール選手権大会1日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合:対昭和第一

第一セット 25 対 11 で開成の勝利 第二セット 25 対 16 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第二試合:対東京学園

第一セット 25 対 3 で開成の勝利 第二セット 25 対 21 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第三試合(コート決勝):対高輪

第一セット 14 対 25 で高輪の勝利 第二セット 14 対 25 で高輪の勝利 より高輪の勝利となりました。

以上より、開成は初日敗退となりました。

勝ち抜ければまた来年次の代が関東私学に出場できるということで意気込んでいましたが、健闘むなしくこのような結果となりました。初めの二試合は問題なく勝利を収めることが出来ましたが、勝負所であるコート決勝において力を発揮することができず、まだまだ個々においてもチームにおいても甘さが見られた大会だったと思います。1月末にはシード権を賭けた重要な大会が控えていますので、そこに向けてもう一度気を引き締めなおし、精進していきたいと思います。

冬季大会

1/29(日)に安田学園高校で冬季大会が行われました。結果は以下の通りです。

対戦校:対調布北

第一セット 25 対 20 で開成の勝利 第二セット 19 対 25 で調布北の勝利 第三セット 20 対 25 で調布北の勝利

より調布北の勝利となりました。

以上より、開成は初戦敗退となりました。

ベスト 40 以上しか呼ばれないこの大会において、一つでも勝ち上がりシードを手にすることを目標に、この冬は練習に取り組んできました。しかしながら大会直前に、セッターを務めるキャプテンがケガをしてしまうというアクシデントに見舞われ、急きょセッター交代ということになりました。急のことながらそのセッターも奮闘し、また控えの選手たちもピンチサーバー等で活躍してくれましたが、惜しくもこのような結果となりました。一セット目を手にしたものの、その勢いのままに勝ちきることができず、まだまだゲーム運びが下手くそだなと痛感しました。残すは関東大会予選のみ。高三にとって最後となるこの大会で結果を残すために、残りの時間に全力を注いでいきたいと思います。

関東大会予選

4/22(日)に上野高校で関東大会東京都予選会1日目が行われました。結果は以下の通りです。

第一試合:対白鴎

第一セット 25 対 11 で開成の勝利 第二セット 25 対 16 で開成の勝利 より開成の勝利となりました。

第二試合:対錦城

第一セット 25 対 20 で開成の勝利 第二セット 22 対 25 で錦城の勝利 第三セット 25 対 17 で錦城の勝利

より錦城の勝利となりました。

第三試合(コート決勝): 対多摩大目黒

第一セット 25 対で開成の勝利 第二セット 25 対で開成の勝利

より開成の勝利となりました。

以上より、開成は二日目進出を決めました。

今のチームで臨む、高三にとっては最後の大会ということで、冬季大会以降この大会に焦点を絞って取り組んできました。初戦の白鴎戦、動きに固さはみられたものの、地力に大きな差があり問題なく勝利を収めることができました。二試合目の錦城は今の代になって最初の大会で敗れた相手でもあり、雪辱に燃えつつ試合に臨みました。結果はフルセットの末に敗北。相手のエースを止めきることができず、このような結果となりました。これによりコート決勝進出さえ危ぶまれ落胆の色が濃かった開成でしたが、二試合目を負けはしたもののフルセットで粘った結果、セット率でコート決勝進出を決めることができました。キャプテンを中心に落ち込みかけていた心を再び鼓舞し、チームー丸となって臨んだ結果、勝利を収め二日目に進出することができました。高三はもちろん、高二、さらには高一までがコートに立ち活躍し、控えの選手たちも全力でサポートしてくれた結果だと思います。

目標である関東大会出場のきっぷを掴み取るため、運動会活動等でなかなか練習時間が取れない中不安はありましたが、紆余曲折を経て結果勝ち抜くことができ、ひとまずほっとしています。しかし目標はまだ先。

残り少ない時間の中でも課題に取り組み、またこうして仲間たちとバレーが出来る喜びを噛み締めながら、 二日目も勝ち上がっていきたいと思います。

4/29(日)に安田学園高校で関東大会東京都予選会2日目が行われました。結果は以下の通りです。

対戦校:対上野高校

第一セット 対で上野の勝利 第二セット 対で上野の勝利

より上野の勝利となりました。

以上より、開成は敗退となりました。

開成バレー部における伝統の一日が、ついにやってきました。今まで歴代の先輩の方々もこの日を経験し、 僕らもその背中を見てここまで来ました。絶対に勝つ、そういう意気込みで練習に励み、本番に臨みました が、結果は及ばず、高三は引退となりました。振り返ってみれば地力に差があったと思います。一つ一つの プレーの精度に差があった。絶対に勝ちたかった試合であり、負けたことはとても悔しいです。しかしなが ら、歴代の先輩方がそうであったように、僕たちもまた後輩たちにその背中で何かを残し、伝えられたのな ら、それは価値のあることだと思います。そのことがまた後輩たちの血となり肉となり、いつか僕たちが果 たせなかった関東大会出場という夢を果たしてくれることを、切に願っています。最後に、これまで応援し てきてくださった諸先輩方に感謝の念を表して、筆を置きたいと思います。

7月25日、藤沢市、藤沢翔陵高等学校で行われた私学関東大会に出場しました。 リーグ戦の第一試合、敬愛大学八日市場高等学校に0-2で敗れ、第二試合、法政高等学校に0-2で敗れ、 第三試合、桐光学園に2-0で勝利しました。

リーグ戦の結果、3位だったため、決勝トーナメントには進めませんでした。

今回の試合では相手の素早いバレーに対し、ブロックが機能せず、力の差をおおいに痛感しました。これからはもう一度セッターからの攻撃パターンを見直し、それとともにブロックを強化していきたいと思います。

今回の大会出場に際し、OB会の先輩方から多大なる援助をしていただき誠にありがとうございました。 この経験を生かし、今後はご期待に添えるようなお一層努力精進していきます。

文責 高二キャプテン 米内征也

6. 近況報告(敬称略)

- ・元気で日々消光しております(S25 大瀧)
- ・何とか元気でおります(S27 岡部)
- ・いろいろ病気をしていますが、その都度良い医者にめぐり合い(開成は良い医者が沢山居るので有難いことです) どうにか元気にしています(S30 進藤)
- ・千葉県勤労者医療協会で週2、3回のパート勤務をしています(S30 寺嶋田)
- ・地域活動で時を送っております(S31 田村)
- ・まだ現役で頑張っています。電子カルテ等で悩まされています(S31 加藤)
- ・永年勤務しました会社から定年退職後5年ぶりに顧問要請を賜りました。これも開成時代にバレーを通じて培った健康の賜物と思っております(S35 山下)
- ・昨年末にフルタイム勤務をリタイヤーし、学生時代に取得した免許で週2、3日のアルバイトをしています (S42 片野)
- ・ゴルフをいつまで続けられるかと祈るような気持ちでいます(S43 金森)
- ・ゴルフをするのもくたびれるようになって来ました。車の運転も必要最小限になっています。車に乗るようになり40年近く、始めて追突されました。軽傷です(S37 上田)
- ・愚息が弁護士になりました(S46 西村)
- ・現在も大学でバレーボールを指導しています(S46 柳)
- ・春高バレー第1回大会東京地区予選の決勝でフジテレビに私らが映ったのがなつかしいです。八王子実践 VS. 中村高校戦。つまり女子の決勝でラインズマンやってました。42年前の話です。開成卒業から満40年、定年退職まであと670日。楽しみです(S47後閑)
- ・オートバイの排ガス浄化用部品の工場をインドネシアとインドに建設することになり、土日含めて海外出張で日本にいる時間が減りました(S49 清水)
- ・相変わらず忙しい日々に追われています。先日はホルムアルデヒドによる断水で苦労しました。水は大事であると改めて認識しました(S54 井手本)

長女が 20 才、私は 50 才と月日の流れを痛感しております(S55 花田)

- ・先日、3年間駐在したブラジルより帰国いたしました(S60 白子)
- ・ずっとごぶさたしております。船橋市立医療センターで外科医をしています。乳癌専門になりました(S61 松崎)
- ・現在アメリカ ヒューストンに在住しております(S61 阿部)
- ・相変わらずプリンストンで統計を教えています(H6 今井)
- ・社会人6年目になりました。2013年1月から海外研修(場所未定)に赴任することになりました(H13 羽方)
- ・2012年の1月から4月まで、インドネシアに短期出向し、アジアの病気に触れてきました(H16 小林)
- ・今年の4月から川崎の病院で働くことになりました(H16 森 禎三郎)
- ・聖路加国際病院に勤務しております(H17 荒田)
- ・東京大学で研究室をまわって様々な実験に触れております。多忙ですが非常に充実した毎日です(H22 藤井)
- ・ゼミやバイトで忙しい毎日ですが、良い友人に恵まれ楽しい大学生活を過ごしています(H22 松本)
- ・東京大学に進学し、大学でもバレーボールを続けています(H23 米内)

#訃報# 岩谷先生ご逝去

開成学園排球部初代顧問の岩谷昭史先生がお亡くなりになりました。

岩谷先生が長く顧問を務められました専門の剣道部 OB 会(士風会)の方より下記ご連絡をいただきました。

* * *

訃報です。

学校に、岩谷先生のご長男から、7月7日(土)午後2時、岩谷先生がお亡くなりになったと連絡が入りました。85歳でのご永眠です。

本人の強いご希望で、通夜や告別式などは、身内ですべて済まされてからのご連絡でした。

先生は以前から腰を痛めておられたのですが、それが脊髄腫で、強い薬を飲んでおられたということ、そして、歯の治療もされていたようなのですが、顎に菌が入り、この1週間は何も口にすることができなかったということ、そのようなことが重なったことが大きかったのではと家族の方がお話しされていました。また、その日は昨年お亡くなりになった奥様の一周忌の法要があり、一週間前から寝込んでおられた岩谷先生をご自宅においてご家族で出かけて帰ってきたら容態が急変されたとのこと。

七夕ということもあり、「お母さんが呼んだんだね」と、ご家族で話しているということです。

「入院は絶対にしない」と断言し、今年に入ってからも、医科歯科大までお一人で通院され、自宅では竹刀 も振っておられたようです。

最後まで、岩谷先生らしい人生を全うされました。

心から、ご冥福をお祈りいたします。

なお、お志、ご挨拶などは、ご本人、ご家族双方のご意志により、すべてお断りさせていただきたいとのことです。

* * *

岩谷先生は我が排球部草創期の顧問を務められ現在に至る礎を築いていただきました。 引退後も度々OB会にご出席いただき、創部初期のご苦労などのお話などとともに先生ご考案の健康体操をご 披露いただいたこともあります。

排球部一同より、心から感謝とともにご冥福をお祈りいたします。

文責 関 (昭和54卒)

※1月3日現役・OB合同練習会のお知らせ

来年2013年1月3日に、開成高校体育館にて0B,現役合同での練習会を予定しております。午前を練習、午後から試合を行う予定ですので、皆さまふるってご参加ください。

※開成バレー部OB会のHP

現役の試合日程・試合結果などもどんどん更新していく予定です。またこれまでに引き続きOBの方同士の情報交換には、併設されている掲示板をご利用いただけます。

以下アドレスを添付しておきますので、お手すきの際には是非ともチェックしてみてください。

開成バレー部OB会ホームページ: http://kaiseivollevball. Web. fc2. com/

開成学園排球部〇B会会報第31号

発行:平成24年9月

執筆:関(S54)、藤井(H22)、

松本(H22)、徳田(H23)